

平成21年2月5日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 種村 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務部長 (氏名) 山田 耕三
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東 名

TEL 052-561-7116

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	93,581	—	3,472	—	3,791	—	△1,683	—
20年3月期第3四半期	100,787	3.9	8,180	17.1	8,645	16.2	4,722	17.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△11.42	—
20年3月期第3四半期	31.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	125,158		76,293		55.1	476.25		
20年3月期	141,643		85,907		55.1	528.40		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 68,925百万円 20年3月期 78,082百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
21年3月期	—	4.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	△12.3	2,000	△80.9	2,200	△79.9	△3,400	—	△23.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 158,428,497株 20年3月期 158,428,497株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 13,704,044株 20年3月期 10,656,361株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 147,366,201株 20年3月期第3四半期 147,797,519株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前

提条件その他の関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は935億81百万円（前年同期比7.2%減少）、営業利益は34億72百万円（前年同期比57.6%減少）、経常利益は37億91百万円（前年同期比56.1%減少）、16億83百万円の四半期純損失となりました。なお、前年同期増減率は参考として記載しております。

事業の種類別セグメントの状況

（工業機材事業）

研削砥石及びCBN工具は、第3四半期に入り主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリングの各業界の減産の影響を大きく受けたものの、累計の売上はほぼ横ばいとどまりました。ダイヤモンド工具は、電子・半導体及び自動車業界の減産の影響や建築・土木業界の低迷が続き売上は減少いたしました。研磨布紙は顧客の減産や中国製安価品の攻勢の影響を受け売上が減少いたしました。その結果、工業機材事業の売上高は330億8百万円（前年同期比5.4%減少）、営業利益は33億13百万円（前年同期比33.6%減少）となりました。

（食器事業）

国内市場におきましては、ホテル・レストラン向け及び百貨店・専門店向け共に不振で、売上は大きく減少いたしました。海外におきましては、欧州市場のロシア等東欧向けが堅調であったものの、主力である北米市場の百貨店・大型専門店向けが大きく落ち込んだことにより、売上は減少いたしました。その結果、食器事業の売上高は103億29百万円（前年同期比24.6%減少）、15億58百万円の営業損失となりました。

（電子事業）

国内市場におきましては、純正車載用及び給湯器用蛍光表示管の売上が大きく減少いたしました。北米市場におきましては、家電用として新規に受注ができたものの、急激な円高に対応するため採算の厳しくなった販売を整理した結果、売上が減少いたしました。欧州市場では、業務用調理器用が堅調であったものの、円高による為替の影響等により売上は減少いたしました。アジア市場では、オーディオ用及び電子計測器用が減少いたしました。その結果、電子事業の売上高は85億59百万円（前年同期比10.5%減少）、営業利益は4億28百万円（前年同期比28.5%減少）となりました。

（セラミック・マテリアル事業）

電子ペーストは、第3四半期に入り顧客の需要が急激に減退したものの、太陽電池向けが伸長したことにより累計の売上は増加いたしました。また、デンタル関連商品及びセラミック部品も売上が増加したものの、厚膜印刷回路基板は自動車業界の減産の影響を受けて売上が減少したほか、セラミック原料や電子部材等も減少いたしました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は248億27百万円（前年同期比0.6%減少）、営業利益は32億17百万円（前年同期比8.9%減少）となりました。

（環境エンジニアリング事業）

乾燥機及び焼成炉等は、上半期は出荷が好調であったものの、第3四半期には減少して累計の売上は微減となりました。また、鉄鋼業界向けの研削機械は堅調であったものの超硬丸鋸切断機は減少いたしました。工作油剤用の濾過装置は自動車関連業界の設備投資縮小の影響を受けて減少いたしました。その結果、環境エンジニアリング事業の売上高は168億56百万円（前年同期比4.5%減少）、営業利益は17億90百万円（前年同期比0.5%減少）となりました。

所在地別セグメントの状況

（日本）

工業機材事業につきましては、研削砥石及びCBN工具が、第3四半期に入り主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリングの各業界の減産の影響を大きく受けたものの、累計の売上はほぼ横ばいとどまりました。ダイヤモンド工具は、電子・半導体及び自動車業界の減産の影響を受けたことに加え、建築・土木業界の低迷が続き売上は減少いたしました。食器事業につきましては、ホテル・レストラン向け及び百貨店・専門店向け共に不振で売上は大きく減少いたしました。電子事業につきましては、純正車載用及び給湯器用蛍光表示管の売上が大きく減少いたしました。セラミック・マテリアル事業につきましては、電子ペーストが第3四半期に入り顧客の需要が急激に減退したものの、太陽電池向けが伸長したことにより累計の売上は増加いたしました。また、セラミック部品は売上が増加したものの、厚膜印刷回路基板は自動車業界の減産の影響を受けて減少したほか、セラミック原料や電子部材等も減少いたしました。環境エンジニアリング事業につきましては、乾燥機及び焼成炉等は、上半期には出荷が好調であったものの第3四半期には減少し、売上は微減となりました。また、鉄鋼業界向けの研削機械は堅調であったものの超硬丸鋸切断機は減少いたしました。工作油剤用の濾過装置は自動車関連業界の設備投資の縮小により減少いたしました。その結果、日本国内における売上高は812億38百万円（前年同期比5.2%減少）、営業利益は39億83百万円（前年同期比47.4%減少）となりました。

(米州)

工業機材事業につきましては、研削砥石及びC B N工具が自動車業界の減産の影響を受けて売上げが減少いたしました。食器事業につきましては百貨店・大型専門店向けが大きく落ち込んだことにより売上げは減少いたしました。電子事業につきましては、家電用として新規に受注ができたものの、急激な円高に対応するため、採算の厳しくなった販売を整理した結果、売上げが減少いたしました。セラミック・マテリアル事業につきましては、デンタル関連商品の売上げが増加いたしました。その結果、米州における売上高は77億99百万円(前年同期比24.1%減少)、62百万円の営業損失となりました。

(欧州)

食器事業のロシア等東欧向け食器及び電子事業の業務用調理器用蛍光表示管が堅調であったものの、円高による為替の影響等により売上げは減少いたしました。その結果、欧州における売上高は20億99百万円(前年同期比7.6%減少)、営業利益は56百万円(前年同期比65.9%減少)となりました。

(アジア)

売上げは堅調に推移したものの、食器製造拠点を統合するため、フィリピンでの生産を中止したことに伴い、その処理費用を計上いたしました。その結果、アジアにおける売上高は21億47百万円(前年同期比3.7%増加)、5億72百万円の営業損失となりました。

(その他)

売上高は2億97百万円(前年同期比35.8%減少)、営業利益は2百万円(前年同期比80.5%減少)となりました。

この結果、在外地域全体の売上高は123億43百万円(前年同期比18.2%減少)、5億76百万円の営業損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、主に仕掛品の減少、売上債権の回収による売掛金の減少及び株式相場下落による投資有価証券の減少により、前期末に比べ164億85百万円減少の1,251億58百万円となりました。負債は未払法人税等の減少及びその他有価証券評価差額金の減少に伴う長期繰延税金負債の減少により、前期末に比べ68億71百万円減少の488億64百万円となりました。また、純資産は主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の減少により、前期末に比べ96億13百万円減少の762億93百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、55億41百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益8億23百万円に、非資金損益項目である減価償却費31億77百万円及び事業構造改善費用24億18百万円が含まれていることに加え、売上債権が47億94百万円減少した一方で、法人税等の支払額が44億99百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、40億50百万円の支出となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の売却による収入が11億10百万円あった一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出が40億15百万円、貸付けによる支出が5億83百万円、子会社株式の取得による支出が2億56百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、23億48百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額が13億29百万円、自己株式の取得による支出が9億84百万円あったことによるものです。

その結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は109億5百万円となり、前期末に比べ12億62百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、企業収益の悪化や個人消費の減退等厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引き続き積極的な営業活動と合理化に注力することにより連結業績予想値の達成を目指してまいります。従いまして、連結業績予想は平成20年12月24日発表の見通しを変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境の著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないと認められる場合に、前連結会計年度末の回収可能性の判断を利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用し、評価基準については、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これに伴い営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ98百万円減少しております。

「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

「リース取引に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正）を早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については通常の売買取引に係る会計処理によっております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より平成20年度税制改正により法定耐用年数が見直されたのを機に耐用年数の見直しを行った結果、改正後の法定耐用年数と同一の耐用年数を適用しております。これに伴い営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ75百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,322	13,284
受取手形及び売掛金	33,986	39,104
商品及び製品	9,617	9,134
仕掛品	5,552	7,306
原材料及び貯蔵品	3,814	3,734
その他	5,695	4,763
貸倒引当金	150	185
流動資産合計	70,837	77,142
固定資産		
有形固定資産	34,836	35,322
無形固定資産	459	642
投資その他の資産		
投資有価証券	14,248	23,244
その他	4,886	5,407
貸倒引当金	111	115
投資その他の資産合計	19,023	28,536
固定資産合計	54,320	64,501
資産合計	125,158	141,643
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,639	20,448
短期借入金	9,176	9,116
未払法人税等	438	2,366
引当金	1,463	1,255
その他	6,554	5,291
流動負債合計	37,272	38,479
固定負債		
長期借入金	5,600	6,700
退職給付引当金	4,070	4,217
その他の引当金	789	876
その他	1,132	5,463
固定負債合計	11,592	17,257
負債合計	48,864	55,736

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,831	18,835
利益剰余金	42,508	45,520
自己株式	6,144	5,170
株主資本合計	70,827	74,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,827	6,916
為替換算調整勘定	3,729	3,651
評価・換算差額等合計	1,902	3,264
少数株主持分	7,368	7,824
純資産合計	76,293	85,907
負債純資産合計	125,158	141,643

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	93,581
売上原価	68,279
売上総利益	25,301
販売費及び一般管理費	
販売費	15,663
一般管理費	6,165
販売費及び一般管理費合計	21,829
営業利益	3,472
営業外収益	
受取利息	82
受取配当金	374
受取賃貸料	83
その他	106
営業外収益合計	646
営業外費用	
支払利息	148
為替差損	129
その他	49
営業外費用合計	327
経常利益	3,791
特別利益	
固定資産売却益	183
投資有価証券売却益	226
その他	53
特別利益合計	463
特別損失	
固定資産処分損	97
減損損失	258
投資有価証券評価損	47
特別退職金	383
事業構造改善費用	2,418
その他	227
特別損失合計	3,432
税金等調整前四半期純利益	823
法人税、住民税及び事業税	1,816
法人税等調整額	411
法人税等合計	2,227
少数株主利益	278
四半期純損失()	1,683

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	823
減価償却費	3,177
減損損失	258
事業構造改善費用	2,418
のれん償却額	15
貸倒引当金の増減額(は減少)	24
退職給付引当金の増減額(は減少)	126
その他の引当金の増減額(は減少)	86
受取利息及び受取配当金	457
支払利息	148
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	225
有価証券及び投資有価証券評価損益(は益)	47
有形及び無形固定資産除売却損益(は益)	85
売上債権の増減額(は増加)	4,794
たな卸資産の増減額(は増加)	723
仕入債務の増減額(は減少)	854
その他	582
小計	9,962
利息及び配当金の受取額	458
利息の支払額	139
事業再編による支出	240
法人税等の支払額	4,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	4,015
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,110
投資有価証券の取得による支出	170
投資有価証券の売却による収入	233
貸付けによる支出	583
貸付金の回収による収入	11
子会社株式の取得による支出	256
定期預金の預入による支出	2,281
定期預金の払戻による収入	1,905
その他	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	66
自己株式の取得による支出	984
配当金の支払額	1,329
その他	101
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	404
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,262
現金及び現金同等物の期首残高	12,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,905

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	工業機材 (百万円)	食器 (百万円)	電子 (百万円)	セラミック・マテリアル (百万円)	環境エンジニアリング (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	33,008	10,329	8,559	24,827	16,856	93,581	-	93,581
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26	33	0	611	694	1,365	(1,365)	-
計	33,034	10,362	8,559	25,439	17,551	94,946	(1,365)	93,581
営業利益又は営業損失()	3,313	1,558	428	3,217	1,790	7,191	(3,718)	3,472

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	81,238	7,799	2,099	2,147	297	93,581	-	93,581
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,620	38	86	2,012	8	9,767	(9,767)	-
計	88,858	7,837	2,185	4,160	306	103,348	(9,767)	93,581
営業利益又は営業損失()	3,983	62	56	572	2	3,407	65	3,472

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)
海外売上高(百万円)	8,704	2,752	15,837	590	27,884
連結売上高(百万円)					93,581
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.3	3.0	16.9	0.6	29.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
売上高	100,787
売上原価	71,029
売上総利益	29,758
販売費及び一般管理費	21,577
営業利益	8,180
営業外収益	682
受取利息	117
受取配当金	362
受取賃料	98
その他	102
営業外費用	216
支払利息	134
その他	82
経常利益	8,645
特別利益	43
固定資産売却益	32
貸倒引当金戻入益	9
その他	0
特別損失	197
固定資産処分損	116
投資有価証券評価損	0
特別退職金	21
訴訟和解金	24
その他	34
税金等調整前四半期純利益	8,491
税金費用	3,288
少数株主利益	479
四半期純利益	4,722

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	8,491
2 減価償却費	2,866
3 退職給付引当金の増減(減少:)	22
4 役員退職慰労引当金の増減(減少:)	2
5 受取利息及び配当金	480
6 支払利息	134
7 のれん償却額	76
8 有価証券及び投資有価証券売却損益(益:)	0
9 有価証券及び投資有価証券評価損	0
10 有形及び無形固定資産除売却損益(益:)	84
11 売上債権の増減(増加:)	1,576
12 たな卸資産の増減(増加:)	1,779
13 仕入債務の増減(減少:)	390
14 その他	520
小計	7,711
15 利息及び配当金の受取額	481
16 利息の支払額	119
17 法人税等の支払額	3,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形及び無形固定資産の取得による支出	3,587
2 有形及び無形固定資産の売却による収入	39
3 投資有価証券の取得による支出	252
4 投資有価証券の売却による収入	8
5 貸付金の回収による収入	8
6 連結子会社の株式の追加取得による支出	306
7 定期預金の預入による支出	1,698
8 定期預金の払戻による収入	1,671
9 その他	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額(減少:)	0
2 自己株式の取得による支出	29
3 配当金の支払額	1,330
4 その他	95
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	28
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	890
現金及び現金同等物の期首残高	13,439
現金及び現金同等物の期末残高	12,549

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	工業機材 (百万円)	食器 (百万円)	電子 (百万円)	セラミック・マテリアル (百万円)	環境エンジニアリング (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	34,893	13,705	9,558	24,988	17,642	100,787	-	100,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25	42	0	808	477	1,352	(1,352)	-
計	34,918	13,747	9,558	25,796	18,119	102,140	(1,352)	100,787
営業費用	29,925	13,123	8,959	22,264	16,321	90,594	2,012	92,607
営業利益	4,992	623	598	3,532	1,798	11,545	(3,365)	8,180

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	85,702	10,278	2,273	2,070	462	100,787	-	100,787
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,059	34	110	2,113	4	12,322	(12,322)	-
計	95,761	10,313	2,383	4,183	467	113,110	(12,322)	100,787
営業費用	88,182	10,111	2,218	4,053	453	105,020	(12,413)	92,607
営業利益	7,579	201	164	129	13	8,089	91	8,180

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)
海外売上高(百万円)	11,096	3,013	13,630	779	28,519
連結売上高(百万円)					100,787
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.0	3.0	13.5	0.8	28.3